


(様式第3号)

## SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2)

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・社長自らが先頭に立ち、雇用条件で全ての社員を差別しない体制を構築している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントを禁止する条項を「就業規則」に明記する。(予定)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・36協定に基づき、正社員・非正規労働者共に長時間の労働防止に取り組んでいる。									8.5 8.8								
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・現在、外国人労働者の採用及び採用予定は無いが、採用する場合は、差別・人権侵害を行わない事を決めている。				4.4					8.7 8.8		10.2 10.3						
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・社員及び関係者に対して、定期的に労働安全衛生に関する教育訓練を実施している。 ISO45001を2020年10月29日に取得している。 ・社長が、建防災主催の安全教育訓練の講師を行なっている。(社長は、建設業安全衛生教育を修了している。)							3			8							
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・メンタルヘルスに関する方針等策定する(予定) ・メンタルヘルスに関する職場の理解を促進する為の教育訓練を実施する(日本健康会議より健康経営優良法人として、2021/3/4に認定証を受けた。また、健康会議による社員へのアンケートを年2回実施) ・メンタルヘルスに対応した休職規程等を構築する。(予定)							3										
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・現在、女性・障がい者・高齢者等活用して居る為、今後多様な人材が活躍できる社内チャレンジ制度を設ける。(予定)					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・職務や役割に応じた研修体系を整備し実施している(職長教育、資格取得講習会参加 他)				4	5.5				8	9							
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・今後、就業規則等を改正して対応する。(予定)					5.5				8.5		10.2 10.3						
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・年一回の健康診断と健康経営優良法人による社員へのアンケートを年2回実施し健康促進に努めている。							3			8							
環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄量は、毎年官公庁に報告しています。 また、建設廃棄物は100%再生処理を行なっている。 ・現場等で発生する建設廃棄物は、廃棄物処理法に従いマニフェスト等で厳格に管理している。											11.6	12.4		14.1			
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・重機等は常には排ガス・省エネ等の対策済みの重機を使用頻度に合わせて効率良く更新を行っている。									7.3					13			
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・長野事務所の屋根にソーラーパネルを設置し、事務所の使用電気を削減して行く(2021年10月設置予定)									7.2 7.3				12.4	13.3			
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・原則的に、有害化学物質は使用していないが、使用する場合は「有害化学物質管理法」に従い、使用する。							3.9		6.3			11.6	12.4				
		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・山林等の現場では、車両・重機等の乗り入れを控え、現地確認を行なって生物や生態系を汚損しないよう「施工計画書」に従い作業実施している。									6.6						15		
		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・建設廃棄物は100%再生処理を行なっています。 ・「施工計画書」に従い現場での3Rと現場でのペットボトル・弁当等の分別回収リサイクル等が容易に出来るよう活動している。													12.5		14.1		
		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・業務上水資源を大量に使用することは無いが、利用する場合は、効果的な利用を行う。									6.4 6.6								

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																									
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、ながのエコ・サークルまたは同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO14001はを2005年5月14日に取得し、施工活動における環境影響等に活用している。 ・ながのエコ・サークルは2015年10月14日に、ゴールド・ランクの認定を受けている。			3.9			6	7					12	13.3	14	15						
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・会社方針（環境方針）・目標（環境目標）を現場事務所ら掲示し、必要に応じて利害関係者に配布する。													12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・長野事務所の屋根にソーラーパネルを設置し、使用電気を太陽光発電のみで対応する。（2021年10月設置予定）							7.2							13							
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・長野事務所の屋根にソーラーパネルを設置し、使用電気を太陽光発電のみで対応する。（2021年10月設置予定） ・現場で使用する骨材は極力バージン材を使用せず自社の中間処理施設で再生されたりサイクル材を使用している。													12.2	13	14	15					
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・幹部社員には、口頭で伝達していたが今後は文書化して社内に掲示し、全社員に周知する。																			16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・幹部社員には、口頭で伝達していたが今後は文書化して社内に掲示し、全社員に周知している。																				16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・現在、自社で管理すべき知的財産は無いが、管理方法については、今後整備する。（予定）									8.2	9											
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・業務で知り得た個人情報は、全て総務で管理している。 ・PCに入っている情報は、総務部長のパスワードで管理し、書類等については、鍵の掛かるロッカーに保管している。																					16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・現在確認していない。 今後は調査方法を確認して行く。（予定）																					16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・取引業者については、契約ごとに契約書・請書等と現場での新規入場者教育と毎日のミーティングで「人権・生態系・セクハラ・汚職等」について周知し認識を共有している。					5					8	10			12	13	14	15	16	17		
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・ISO45001を、2020年5月14日に取得し、現場での安全衛生管理に活用している。 ・安全衛生基準法に基づき、定期的に社内教育と各現場で訓練を実施している。 社長が、建設業安全衛生教育を修了しており、建災防の職長教育の講師を依頼されている。			3.9										12.4								
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・ISO 9001は、2004年10月30日に取得しており、施工現場で品質向上に活用している。														9							
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・施工現場毎に「施工計画書」を作成し、現場に合わせた環境対策を策定している。 ・ISO14001を2005年5月14日に取得しており、施工活動における環境影響等に活用している。						6								12	13	14	15				
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・現場での手直し工事を抑え、天然資源（鉄筋・コンクリート・プラスチック等）が無駄にならないように、現場管理を行なっている。 ・防音・振動に対しては環境型重機を使用し、防音・振動等の社会的苦情等が発生しない様に作業員にも毎日のKY活動を通じて周知徹底している。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
32	地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域に最良のインフラを構築（施工・補修等）するため「施工計画書」を作成し、地域に最良の施工方法を策定し全社員で良質な施工を行なっている。				4					9		11	12		14	15		17		
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地域事業への寄付、地域行事に積極的に参加している。				4							11			14	15		17		
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	可能な限り県産材の使用を進めて行く。									8	9		11	12	13					
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・ISO9001・14001・45001を取得しており、ISO規格に基づき「会社方針・会社目標」制定し、社内・現場事務所に掲示し関係者に周知徹底している。 ・ながのエコ・サークルも取得しており、ISO45001と共に廃棄物の分別・削減等を行なっている。									8	9								17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・ISO9001・14001・45001の規定に従い、毎年「法規制等一覧表」により遵守状況を確認している。																		16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・ISO9001・14001・45001の規定に従い、管理責任者を任命し、社会・環境・安全について、確認・指導等を行なっている。																			16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・顧客・現場周辺等とは常に文書や打ち合わせ会等を通して「要望・苦情等」を確認し、問題が有れば即座に対応している。																			16 17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・ISO9001・14001・45001の規定に従い、定期的に幹部会議を行い「経営・施工・教育」等リスクを明確にしている。																			16
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・地域のインフラ整備の一役に担う企業として「良質な施工・環境への配慮・安全な労働環境」の整備を行いながら、地域に安全・安心を届けられる企業を目指しています。																			16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・ISO9001・14001・45001の規定に従い、緊急事態等の手順を明確にし、毎年緊急事態訓練を実施している。										9		11		13 13.1					16
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	施工における事業継続については、上記で対応しているが、経営的事業継続については今後策定して行く。										8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものであっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）